

平成26年度学校評価【生徒アンケート】

評価基準	A	B	C	D
	よくできた 強く思う	できた 思う	あまりできなかった 思わない	できなかった 全く思わない

アンケート項目	評価 (%)			
	A	B	C	D
1 分かりやすい授業が行われていて、あなたは学習内容をよく理解できている。	17	68	13	2
2 先生は、生徒が授業規律を守り授業に積極的に参加するよう取り組んでいる。	27	38	34	1
3 あなたは、授業規律を守り、授業に積極的に取り組んでいる。	41	46	10	3
4 先生は、生徒の学習意欲や学力向上への工夫をしている。	27	34	36	3
5 先生は、朝の学習、宿題、週末・休業中の課題等により家庭学習の習慣を確立するよう工夫している。	27	49	20	4
6 あなたは、朝の学習、宿題、週末・休業中の課題等にしっかり取り組んでいる。	25	37	28	10
7 先生は、質問しやすく、わからないことやできなかったことについて納得がいくまで指導してくれる。	34	44	20	2
8 先生は、長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を行って、進路実現のための学力の充実を図っている。	42	40	14	4
9 あなたは、早朝・放課後・長期休業中の補習に参加し、その成果が得られている。	20	33	26	21
10 あなたは、進路実現に必要な科目や興味関心のある科目が選択できている。	33	43	16	8
11 先生は、生徒に進路実現に向けて必要な情報提供やアドバイスをしている。	39	44	14	3
12 先生は、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等について統一して指導している。	40	43	11	6
13 生徒は、挨拶・身だしなみ・言葉遣い・マナー等をしっかり守っている。	38	42	18	2
14 先生は、生徒とのコミュニケーションを密にしている、生徒との信頼関係ができている。	30	48	16	6
15 生徒は、総合的な学習の時間等における体験的な学習やボランティア活動に積極的に参加している。	34	41	17	8
16 伊和高祭・体育大会等の学校行事は充実していて、生徒は積極的に参加している。	46	40	12	2
17 部活動は熱心に行われており、その成果を上げている。	32	40	24	4
18 あなたは、各種の配布物や学校ホームページを活用して、必要な情報を得ている。	18	32	32	18
19 あなたは、伊和高校に満足している。	29	55	10	6
20 教員・生徒は以下の教育目標の達成に向けて、しっかり取り組んでいる。 ○活気に満ちた安全安心な学校づくり ○豊かな人間性と社会性を育む学校づくり ○地域に信頼され親しまれる開かれた学校づくり	31	54	13	2

※%数値は四捨五入しています

平成26年度学校評価について保護者の皆様にご協力を得ました。近年は伊和高校に対する地域の評価が全般的に上昇してきました。評価AとBの合計が80%を超えている項目No.は以下のとおりです。

設問番号(2、3、4、5、6、7、8、9、10、11、12、14、15、16、17、18、19、20、21)

評価基準	A	B	C	D
	よくできた 強く思う	できた 思う	あまりできなかった 思わない	できなかった 全く思わない

項目	No.	評価項目	評価(%)			
			A	B	C	D
学校の在り方	1	学校ホームページの更新や「学年通信」「学校新聞」等を発行し、学校広報として情報を提供している。	22	55	21	2
	2	ボランティア活動(地域清掃・福祉施設訪問等)様々な活動を通して地域に貢献している。	35	54	8	3
	3	部活動を活性化しようと積極的に取り組んでいる。	34	47	16	3
学習指導	4	授業内容・方法・教材の工夫、少人数授業や習熟度別授業を実施し、学習内容の定着を図り個に応じた学習指導を行っている。	27	60	11	2
	5	生徒の進路実現に必要な科目や興味関心のある科目が選択できるよう教育課程を工夫している。	33	54	11	2
	6	早朝の時間を活用して基礎学力充実講座等を実施し、学習習慣を身につけ、学習意欲や学力が向上するよう工夫している。	38	51	9	2
生徒指導	7	全教員が統一した指導を行っている。	20	62	13	5
	8	職員から生徒に声かけを実践し、生徒に、挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナーについて意識を高める指導を行っている。	30	63	5	2
	9	個人面談等を行い生徒の内面を理解しながら適切な指導を行っている。	26	64	10	0
進路指導	10	ロングホームルームや総合的な学習の時間を活用して個に応じた進路指導を行っている。	19	76	3	2
	11	進路情報を適切に提供している。	24	60	13	3
	12	長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を行って進路実現のための学力の充実を図っている。	27	62	8	3
学年	13	教員と生徒のコミュニケーションが密で、信頼関係ができています。	20	56	17	7
	14	学年懇談会や保護者との面談の時期・回数は適切である。	27	57	13	3
	15	学年・担任と保護者の連携が十分に図られている。	26	57	14	3
学校行事	16	伊和高祭や体育大会等の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	28	59	11	2
	17	伊和高祭・体育大会・総合的な学習の時間発表会等の行事に保護者や地域の人が参加しやすいよう工夫している。	27	56	15	2
	18	修学旅行の目的がはっきりしており、時期・内容は適切である。 今年度は 1/27(火)～30(金)沖縄方面で民泊・マリンスポーツ等を実施予定。	31	63	4	2
その他	19	地域や地元中学校との連携を深めながら教育活動を行っている。	30	58	10	2
	20	学校からの諸連絡の方法(配布物、電話、ホームページ等)は適切である。	30	51	17	2
	21	教職員の対応は丁寧で適切である。	41	48	9	2

※%数値は四捨五入しています

4:よくできている 3:できている 2:あまりできていない 1:できていない

項目	No.	評価項目	評価	H25
学校の在り方	1	学校公開やホームページ・学年通信・学校新聞等を通して開かれた学校づくり・学校の特色づくりに積極的に取り組んでいる。	3.2	4.0
	2	多様なボランティア活動を通して地域に貢献している。	3.8	3.7
	3	部活動を活性化しようと積極的に取り組んでおり、その成果があらわれている。	3.8	3.7
学習指導	4	授業内容・方法・教材の工夫や少人数授業・習熟度別授業を実施して、学習内容の定着を図り、個に応じた学習指導を行っている。	3.2	3.0
	5	早朝の時間を活用して基礎学力充実講座等を実施し、学習習慣を身につけ、学習意欲や学力が向上するよう工夫している。	3.2	3.0
生徒指導	6	全教員が挨拶・礼儀・服装・言葉遣い・マナーについて統一した適切な指導を行っていて、その成果があらわれている。	3.3	3.5
	7	生徒会行事等において生徒会役員を中心として生徒が企画・運営を行い、生徒の自主性・主体性を育成している。	3.7	3.0
進路指導	8	LHRや総合的な学習の時間を活用して、個に応じた進路指導を行っている。	3.0	3.0
	9	長期休業中の補習や平常の早朝・放課後の補習を行って、進路実現のための学力の充実を図っている。	3.3	3.0
学年経営	10	教員と生徒のコミュニケーションが密で、信頼関係ができている。	3.0	3.0
	11	学年・担任と保護者の連携が十分に図られている。	2.8	3.0
学校行事	12	伊和高祭や体育大会等の内容は適切で、生徒が意欲的に取り組んでいる。	3.7	3.5
	13	オープンスクール・伊和高祭・体育大会・総合的な学習の時間発表会等の行事に保護者や地域の人が参加しやすいよう工夫している。	3.3	3.5
人権教育	14	人権に関する授業や講演会などの充実をはかり、生徒の身近な問題から人間を相互に尊重し合う態度を育成できている。	3.2	3.0
その他	15	地域や地元中学校との連携を深めながら教育活動を行っている。	3.2	3.3
	16	学校は生徒・保護者・地域にとって魅力があり、信頼できる学校である。	3.0	3.3

4:よくできた 3:できた 2:あまりできなかった 1:できなかった

領域	評価の観点	評価項目	番号	実践目標	H26 評価	H25 評価
学校運営	開かれた 学校づくり	家庭や地域への情報 発信	1	学校ホームページの更新を随時行い、「学年通信」・「伊和の里だより」・「ほけんだより」等を定期的に発行し、学校の情報を広く、保護者や地域・中学校に提供する。	2.8	3.4
		学校評議員制等を利用 した学校運営の推進	2	学校評議員会を実施し、またできる限り授業や学校行事に参加してもらう。各委員から出された意見を職員会議等で示し、学校運営に活かし、反映させる。	2.7	2.9
	生徒指導	生徒指導方針の確認と 指導体制の推進	3	指導方針を職員・生徒に明確に示し、職員研修会等を通して職員の共通理解を深める。また重点項目の設定や指導カードの活用など職員全体が連携して指導にあたる。	2.4	2.7
		生徒の内面の理解を図 る工夫	4	個人面談を随時実施しながら生徒の内面の理解を図り、家庭と綿密な連携を取る。	2.9	3.0
		生徒の自主・自律の精 神を育む指導の工夫	5	生徒会総務委員を中心に生徒会行事を企画・運営する力を育成し、生徒会活動を活性化させることで、自主・自律の精神を育む。	3.1	2.6
	進路指導	進路指導体制の充実	6	3年間を見据えて、進路指導に関する年間計画を作成し、組織的・継続的に進路指導を実施する。	2.7	2.6
		職業観・勤労観の育成 と進路意識の向上	7	進路講演会・進路別説明会・卒業生との懇話会などを実施し、その事前指導・事後指導を通じて、生徒の職業観・勤労観を育成し、進路意識を向上させる。	2.9	2.9
	教職員の 資質向上	実践的指導力の向上	8	全職員が実践的な指導技術や専門性の向上を目指し、定期的に公開授業・研究授業を行う。	2.5	2.4
		計画性を持った研修の 実施	9	学習指導・進路指導・生徒指導・人権教育指導など、学校の諸課題について校内研修を計画的に立案し実施する。	2.5	2.9
	危機管理体制 の整備	実効ある学校マニユ アルの策定	10	防災・事故・防犯等に関する危機管理マニュアルを作成し、職員室などにその要点を掲示する。	2.7	2.1
		家庭・地域・関係機関と 連携した危機管理体制 の推進	11	家庭・地域・関係機関との連絡を密にし、実情に応じた危機管理体制を推進する。	2.7	2.1
	PTCA活動	PTCAとの連携	12	生徒・職員・PTAが独立50周年記念事業に積極的に参加。また、地域主催のイベントやボランティア活動にも参加し、地域に貢献する。	3.4	3.4
教育課程	自ら学び 自ら考える力 の育成	体験的・問題解決的な 学習の展開	13	インターンシップや「総合的な学習の時間」等における体験的な学習、問題解決的な学習を推進する。	3.2	3.6
	基礎・基本 の定着	生徒の学力の把握と評 価規準の設定	14	生徒の学力を客観的にはかるテストを工夫して学力を把握する。また学校全体の評価規準に基づき、教科における評価規準を設定し、評価を行う。	2.8	3.2
		学ぶ喜びや達成感が 味わえる指導方法の工 夫	15	朝の基礎学力養成タイムや早朝・放課後の学力充実講座等を計画的・継続的に実施し、生徒の力を伸ばし、就職試験や大学等への進学に対応できる力をつける。	2.9	3.1
	総合的な学習 の時間	教職員の協働体制の 確立	16	生徒の興味、関心、適性を把握し、ニーズにあった学習テーマを設定し、全教職員が取り組む。	2.8	3.0
	個に応じた 学習指導 の徹底	評価方法の創意工夫	17	評価方法について協議し、各教科・科目において観点別評価を工夫する。	2.7	2.9
		指導形態の工夫	18	習熟度別授業や少人数授業を実施し、個に応じた指導を行う。各教科で個別指導、グループ指導、一斉指導等の効果的な指導形態を研究実践する。	2.9	3.0
	特別活動	ボランティア活動	19	地域のボランティア活動・地域行事・募金活動等への生徒の積極的参加をすすめる。	3.1	2.9
		部活動の活性化	20	入学時などに生徒に入部することを働きかけて、生徒の入部率を高め、部活動を活性化する。	3.2	2.2
課題教育	防災・安全 教育	教員の防災教育に係わ る指導力・実践力の向 上	21	定期的に打ち合わせ・研修を行い、防災に係る予知・予防の意識を高めるとともに、実践的な訓練・研修を行う。	2.7	2.4
			22	救急救命講習会を生徒・職員・保護者に対して実施し、いかなるときにも命を守るとい意識と技能を高める。	2.9	3.1
	人権教育	人権教育推進体制へ の取り組み	23	3年間を見通した人権ロングホームルームの充実を図り、計画的に実施する。	2.6	2.6
		確かな人権意識の育成	24	学校の教育活動全体を通じて、生徒の身近な問題から人間を相互に尊重し合う態度を育成する。	2.8	2.9
	環境・福祉 教育	高齢者や障害のある人 等への理解を深める指 導の推進	25	福祉施設との交流や奉仕活動を計画的に実施し、福祉に対する意欲や関心を持たせ、高齢者や障害のある人等への理解を深める。	3.2	3.4
		環境教育の推進	26	省エネルギー、ゴミ削減、リサイクル等の身近な問題から環境への関心を高め、より良い環境を創造するための実践力を高める。	2.5	2.4
	学校の 個性化 多様化	特色ある教育課程	27	学校設定科目や多様な選択科目を設定し、類型の特色化と効果的な教育課程を研究する。	2.9	3.3
		外部講師の活用	28	地域人材・有識者等を特別非常勤講師として活用し、生徒の多様な興味・関心に応えるとともに、より発展的で体験的な授業内容の学習活動を展開する。	3.1	3.4